

## 子ども会活動についてのアンケート調査 集計結果

先般お願いしたアンケートについて、ご多忙の中ご対応頂き有難うございました。集計結果がまとまりましたので、ここに送付致します。貴子ども会の活動の何らかの参考になれば幸いです。なお自由記述欄は極力原文のまま掲載していますが、要約して載せている箇所もあります。また多くの方々のご意見を掲載しなかったのですが、紙面の都合上、当市子連で抜粋させて頂きましたこと、ご了承下さい。



区	子ども会数	回答数	回答率 [%]
鶴見	63	29	46.03%
神奈川	59	56	94.92%
西	50	37	74.00%
中	1	0	0.00%
南	72	35	48.61%
港南	19	10	52.63%
保土ヶ谷	17	9	52.94%
旭	26	19	73.08%
磯子	36	4	11.11%
金沢	3	0	0.00%
港北	35	23	65.71%
緑	6	3	50.00%
青葉	0	0	
都筑	23	8	34.78%
戸塚	20	13	65.00%
栄	24	10	41.67%
泉	7	0	0.00%
瀬谷	4	0	0.00%
合計	465	256	55.05%

2023年9月23日

横浜市子ども会連絡協議会

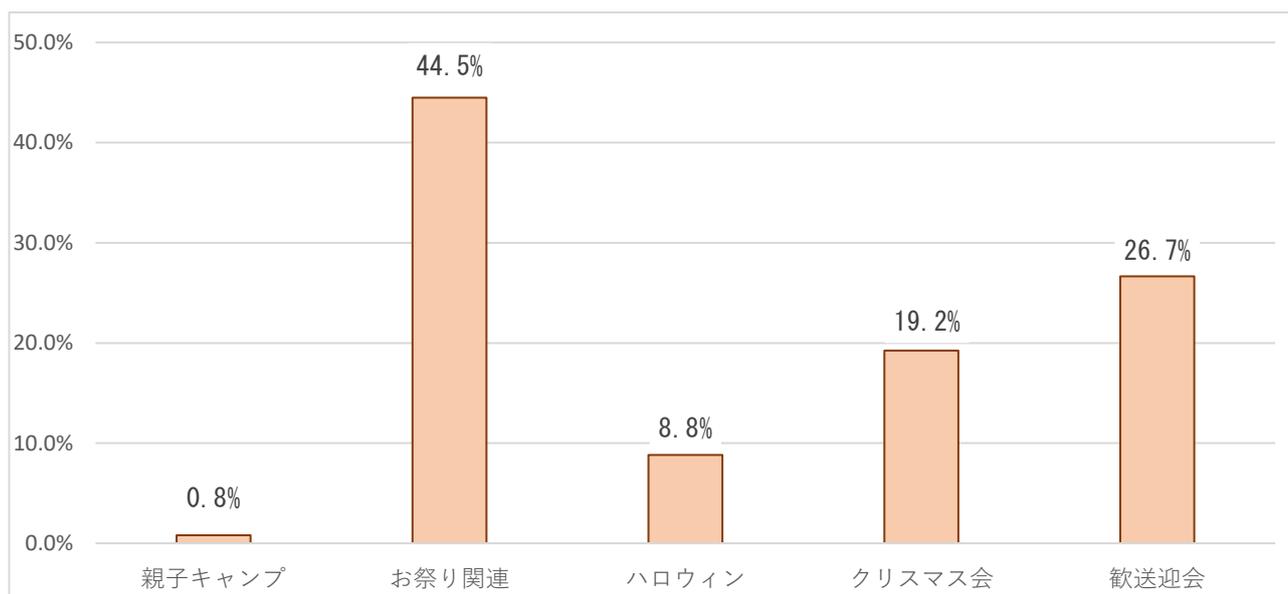
質問1 あなたの子ども会に加入している子どもの人数を教えてください。（複数回答）

単位：人	未就学	小学生	中学生	高校生
平均人数	10.4	68.7	24.8	15.7
最大人数	128	589	327	119

質問2 あなたの子ども会の役員数を教えてください。（複数回答）

単位：人	男性	女性
平均人数	4.6	6.8
最大人数	62	54

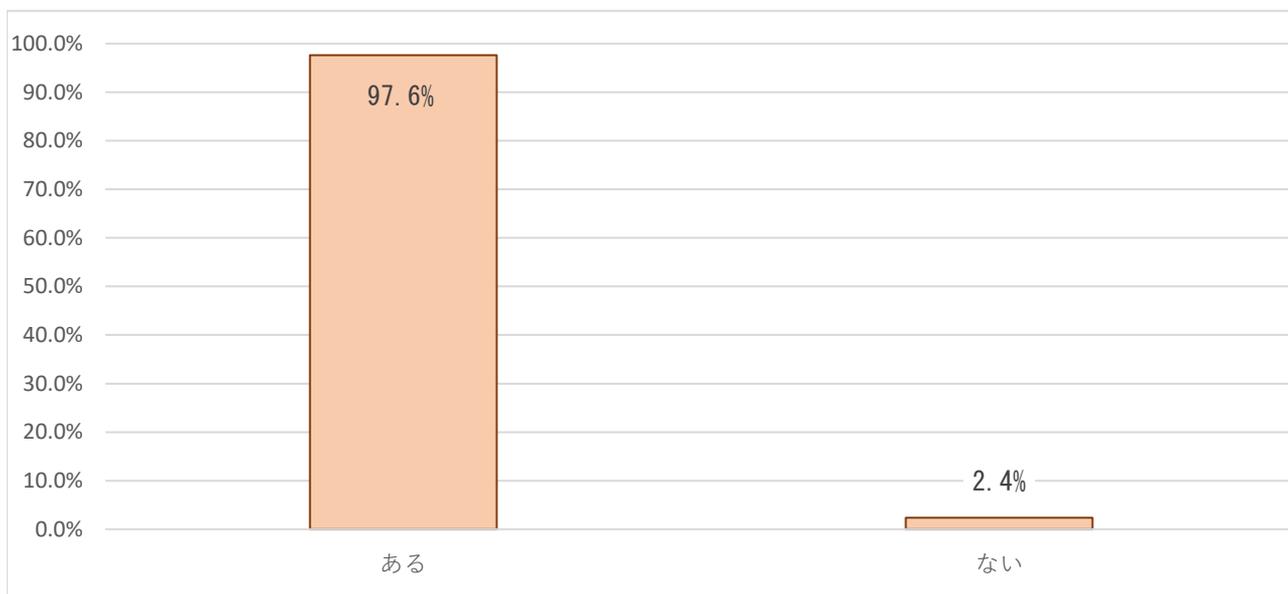
質問3 あなたの子ども会で実施している活動や行事を教えてください。（複数回答）



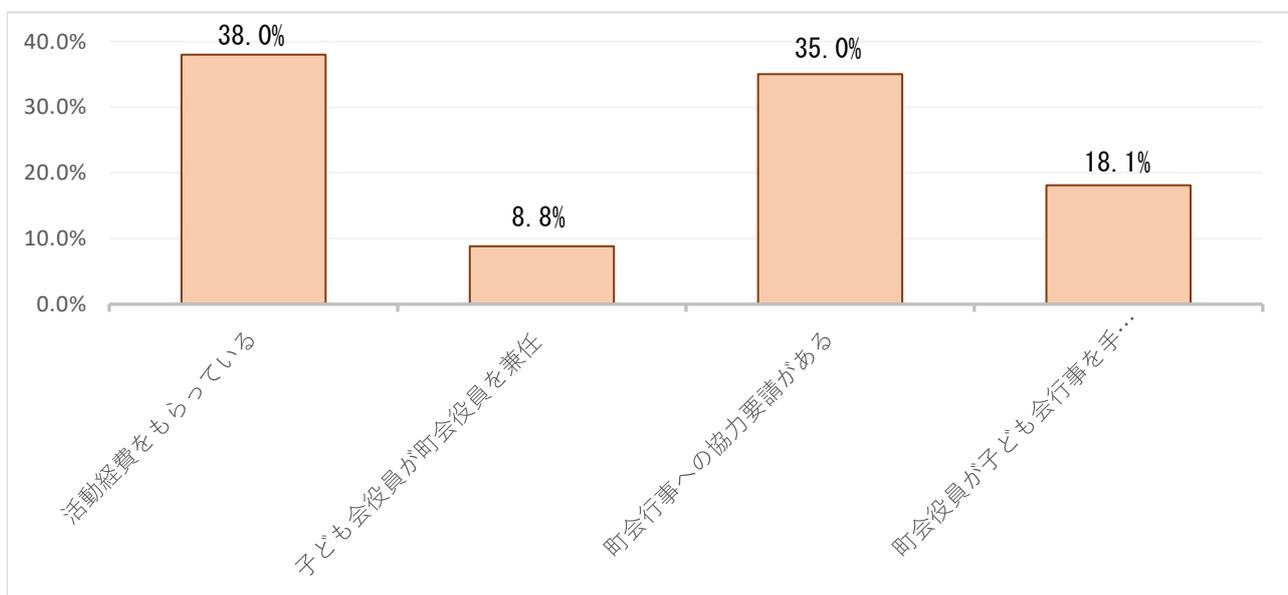
その他自由記述で多かったもの

- ◆アウトドア 豚汁集会、餅つき、運動会、盆踊り、芋掘り、焼き芋、花火、BBQ、草むしり、七夕、プール、夏祭り、桜まつり、ウォークラリー、お花見、そうめん流し、縁日、田植え、チューリップ植え、鯉のぼり飾り、野菜収穫体験、どんと焼き
- ◆見学 バス旅行、遠足、消防署見学、宇宙科学館見学、博物館見学
- ◆イベント お楽しみ会、ラジオ体操、オセロ大会、地域清掃、バルーンイベント、老人会会食配膳、工作、文化祭、映画会、節分豆まき、スクールゾーン見守り、リサイクル活動、バザー、地域高齢者との交流会、ビンゴ大会、陶芸教室、かるた大会、ランタン作り、ペットボトルロケット作り、宿題サロン
- ◆防犯・防災 防災センター見学、放水体験、避難訓練、登校時安全パトロール、防犯パトロール、応急処置学習
- ◆スポーツ大会 ボーリング、ドッチボール、スケート、グランドゴルフ、輪投げ、キックベース、モルック、ユニホック、ドッチビー、インディアカ

質問4 あなたの子ども会は町内会・自治会と繋がりがありますか？（単一回答）



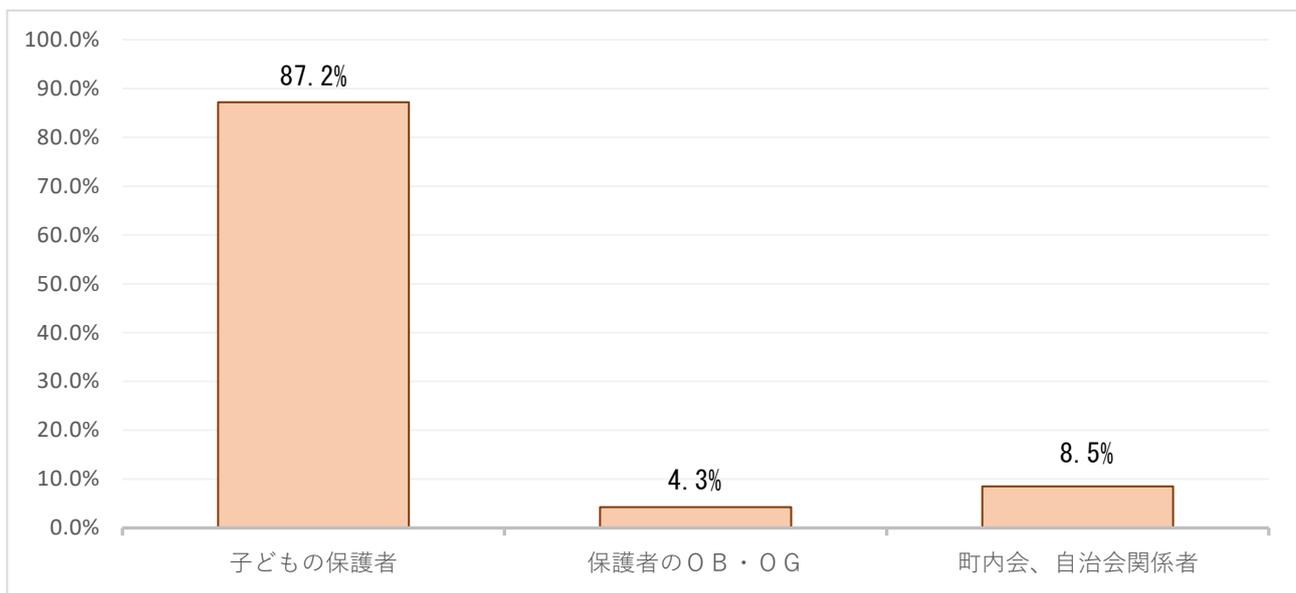
質問5 具体的にどのような繋がりがありますか？（複数回答）



その他自由記述で多かったもの

- ・お祭りや文化祭などで協力しあっている。
- ・町内会総会の議決権を、会長1、副会長2、計3票所有している。
- ・婦人部と子ども部の代表で毎月定例会を実施している。また月1の清掃や防災パトロールなど年間行事を実施している。
- ・お祭り、文化祭などで協力しあっている。
- ・自治会との合同イベント（ごみ拾い・町内パトロール・運動会・秋祭り）がある。
- ・毎月の横浜市広報誌を配布している。
- ・町内会の定例会のみ出席している。

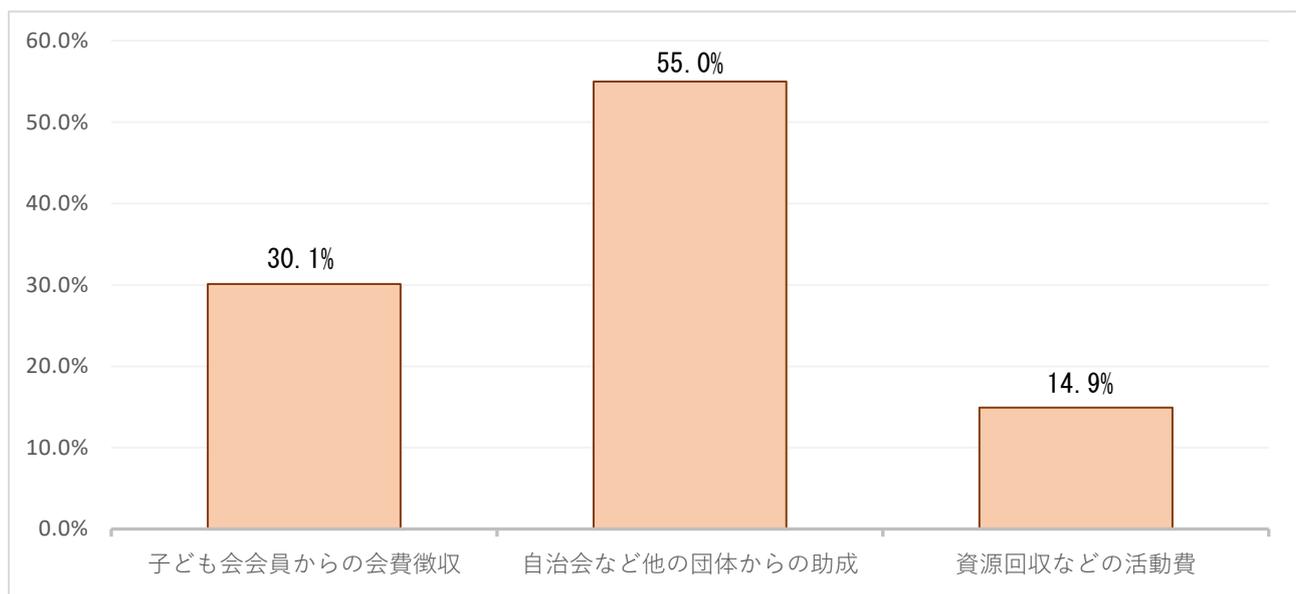
質問6 あなたの子ども会の役員は、次のうちどちらで構成されていますか？（複数回答）



その他自由記述で多かったもの

その他の記載は無し。

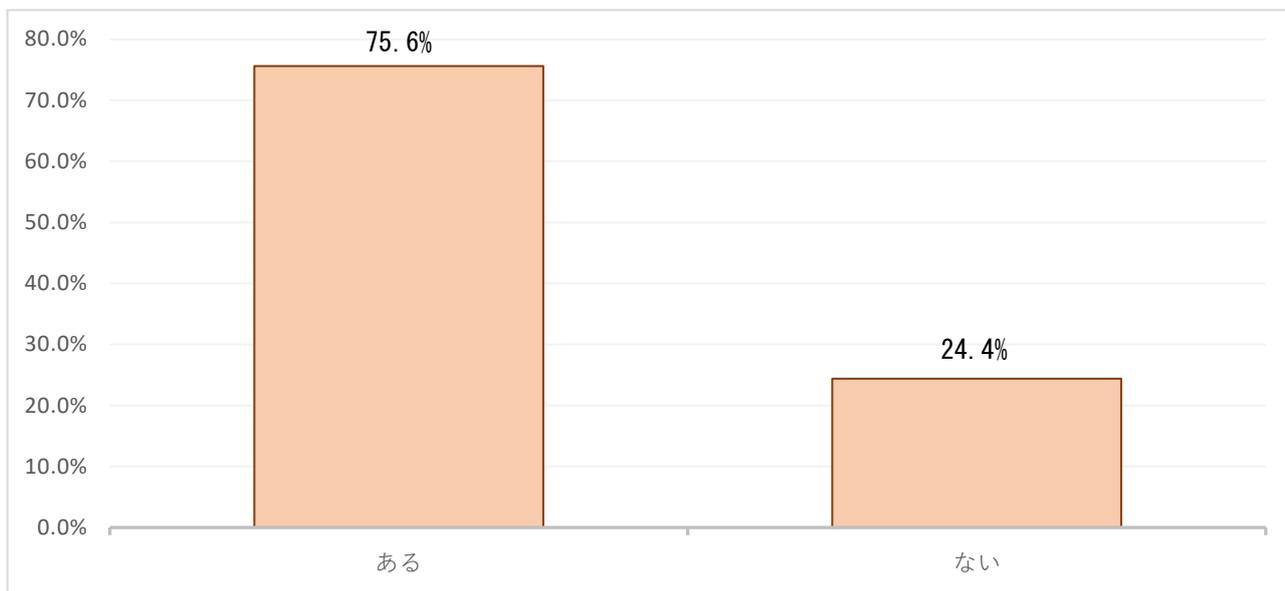
質問7 あなたの子ども会での、収入源を教えてください。（複数回答）



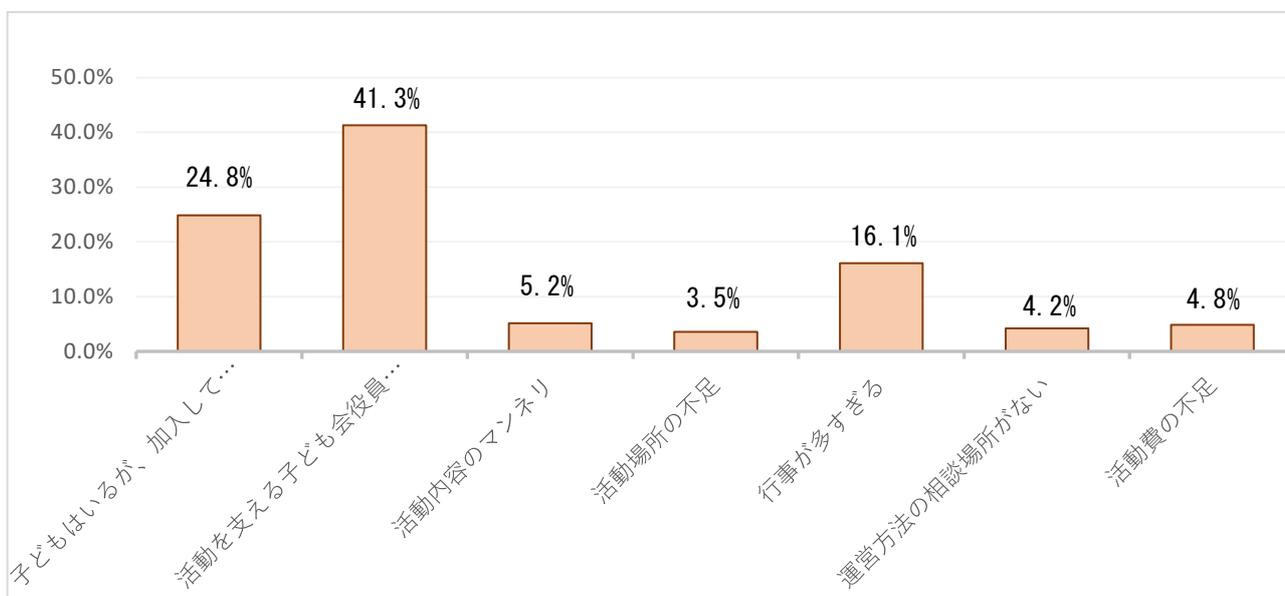
その他自由記述で多かったもの

- ・夏祭りに出店して収益を得ている。
- ・自治会とPTAから助成金をもらっています。
- ・全額自治会の予算で運営している。
- ・活動費について、町内会より支給されている。
- ・自治会から活動経費を頂くほか、賛助会費（任意）も頂いています。

質問8 活動するうえで、お困りごとがありますか？（単一回答）



質問9 お困りごとの具体的な内容を教えてください。（複数回答）



その他自由記述で多かったもの

◆手探り状態のイベント

- ・役員の人柄によって大きく左右される、今年は役員も保護者も協力的でとても和気あいあいととてもいい雰囲気です。しかしここ数年のコロナ禍で夏祭りなどのイベント経験の無い役員が実行委員のため手探り状態となっている。



次ページにつづく

#### ◆子ども会内のコミュニケーションロス

- ・日本語がうまく通じない家庭がある。
- ・親身になって相談にのってくれない。年配の方々は仕事をしている母親が行事に参加できないことを温かい目でみて欲しい。
- ・町内会とのかかわり方に苦慮している。
- ・母親だけでなく、両親で活動を支えられるといいと思う。
- ・町内会でできないことを子ども会に廻してくる。
- ・活動費が自治会から出ているので、都度自治会にお伺いたてねばならないこと。家庭の多様化が進んでいるのに、行事の運営方法を変えると自治会から非難される。
- ・子ども会を必要と考える親が少なくなっている。地域交流不要だと考える親も大勢いる。

#### ◆役員の成り手不足・負担増

- ・子ども会役員の成り手がおらず、半ば強制的な選出に陥っている。
- ・保護者・役員があまり協力的でなく、会長1人に負担がかかっている。
- ・様々な団体との会議はすべて夜間なので、会長が代表して出席している。
- ・仕事をしている役員が増え、平日の会議に都合がつきにくい。
- ・行事運営の時間的・体力的負担が大き過ぎる。
- ・6年生の保護者が役員をする決まりになっているが、役員を避けるため直前の4年5年あたりで子ども会を退会する方が多い。
- ・年々、子ども会加入の世帯数および子どもの数が減少傾向で、また町内会も高齢化が進み、町内行事を実施するにあたり人手を集めることが困難な状態。
- ・子どもの習い事が土日曜なので、加入を拒む方が増えている。
- ・役員減少。仕事を分担するも手一杯、しかし役員の人数を増やすことも困難。会長・副会長・会計は、特に多忙。各家庭にPCがあるわけでもなく、負担大。
- ・小さな子どもがいるので、夜の会議の参加が困難。

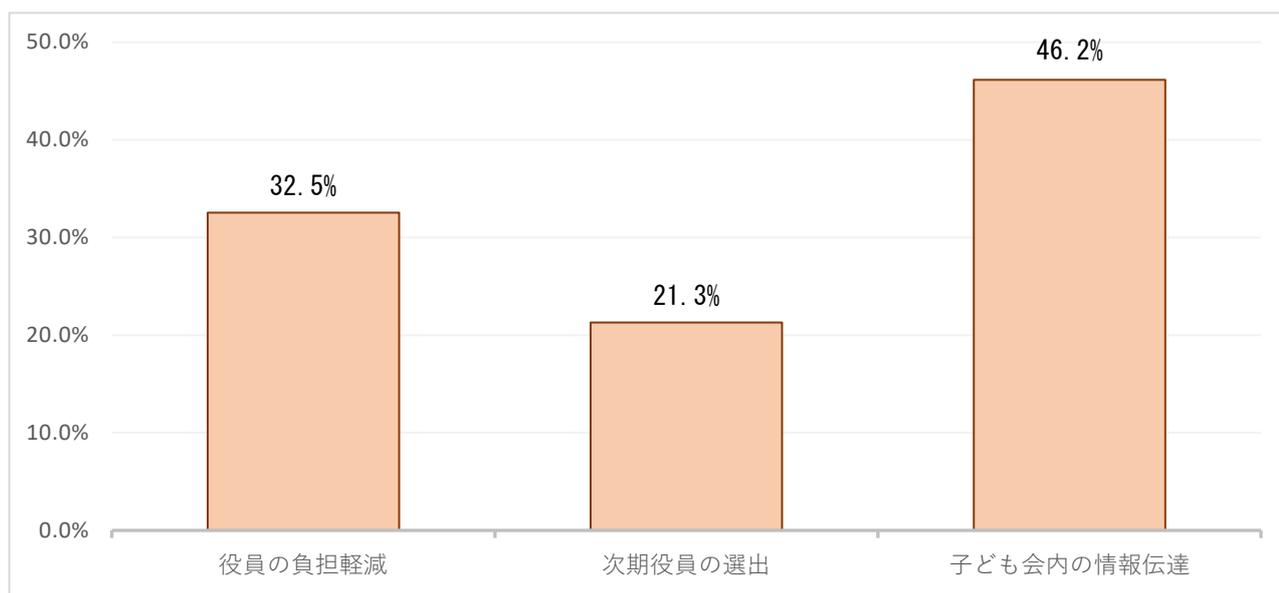
#### ◆子ども世帯の把握

- ・システムの町内在住の子どもの総数を把握できない。
- ・強制ではないので加入していない子どもがどれだけいるのか把握できていない。
- ・新1年生の情報を得るのが一苦労。連絡が欲しくてもなかなか連絡してこない保護者がいて、やりたいことが進まない。

#### ◆子どものイベント参加

- ・加入児童は十分にいますが、イベントや活動に参加してもらえない。
- ・マンションに子どもはいるが、加入してもらえない。

質問10 あなたの子ども会で、次の課題について工夫していることがあれば教えてください。



【課題1】 役員の負担軽減について、自由記述多かったもの

◆行事のスリム化

- ・活動を減らしたり内容を簡素化している。
- ・コロナで減った行事の復活は取りやめている。
- ・イベントの数を多くし過ぎない。
- ・担当者それぞれが物事の重要性を分別し簡素化している。
- ・子ども会加入者にアンケートをとり、どのような行事であれば参加したいか確認し、そのうえで行事を厳選して役員の負担を軽減している。
- ・過去実施してきた行事をすべて実施するのではなく、当年度役員で可能なものを実施する。
- ・子どもの満足度と役員負担のバランスを考え、満足度があまり高くないイベントは削減する。

◆スタッフ間の負担平準化

- ・すべての保護者に声を掛け活動ごとに協力依頼している。
- ・可能な限り交代制をとり、できるだけ平等におこなうようにしている。
- ・従来にとらわれず、常に新しい方針で活動する。
- ・役職に関わらず、みんなで協力しあって運営する。
- ・行事ごとに担当を割り振りし、役員以外の保護者にもお手伝いをお願いしている。
- ・役員ひとりひとりの負担を減らす為に、それぞれの役割分担を設け、1年間の仕事の量が多くならないように気を付けている。
- ・子ども会会長と校外委員は専任業務もあるため、一部の行事からは担当をはずし可能な時の任意参加としている。
- ・イベントごとに担当者を振り分けている

 次ページにつづく

#### ◆情報共有・会議

- ・役員が子ども会の仕事を回数や内容で分けて、それぞれ公平に負担するようにし、オンラインを活用して情報共有している。
- ・定例会の時間短縮のため、事前に議題を決めておく。
- ・集まる回数を減らす。
- ・極力ペーパーレス化を意識する。
- ・小学校の土曜参観日に会議をするなど、仕事を休む回数を減らしている。
- ・会費徴収は、paypayでおこなう。
- ・イベントの申し込みはQRコードにすることで、名簿作成の時間短縮を実現している。

#### ◆町内会自治会との連携

- ・昨年度の子ども会会長の功績で町内会との強い連携が生まれ、子ども会役員の成り手がいないこと、子ども会入会者の減少などの問題点を町内会と共有でき、町内会が全面的にバックアップしてもらえることになった。
- ・働いている人ばかりなので、今までおこなってきた行事を開催する際も、簡略化できるところを考え変更したり、子ども会OBや町内会から助けてもらえる関係性をつくるようにしている。
- ・町ぐるみで活動しているので、役員の負担は少ない。婦人部の方が他の役員の方々にも協力をお願いしている。
- ・町内会へお手伝いの要請をしたり、会議の出席者を最低限にしている。
- ・町内会と連絡をとり合い、仕事内容を明確にし無駄を省く。

#### ◆役員以外のスタッフ増強

- ・各行事ごとにボランティアを募集し役員以外の保護者にもかかわってもらうようにしている。
- ・子どもがいない世帯の大人も参加協力してもらう。
- ・人手が足りない時は経験者を募る。
- ・夏祭りなど人手が必要なイベントは、役員OBや次期役員候補の方にも協力依頼している。

## 【課題2】次期役員の選出について、自由記述多かったもの

### ◆新しい選出方法

- ・点数制を導入しはじめた。
- ・役員の任期を2年とし、1年おきに半数改選することで、活動内容を理解していない役員を理解している役員がフォローできる体制としている。
- ・役員経験者を入れ選出する。
- ・入会する際に、役員ができる年度を確認する。
- ・書面でアンケートをとり、立候補の受付だけでなく、引き受け手がいなければ受けても良いなどの細かな意思表示や、逆にどうしても引き受けられない事情等も伝えられることで選出しやすくなった。

### ◆優先順位付けして選出

- ・経験者にお手伝いを依頼している。
- ・高学年で役員経験が無い人から順に声を掛けて集まってもらい話し合いで決定。
- ・前期役員で話し合い次期に相応しい人を選出し、直接ご本人にお声掛けして相談する。
- ・2年目になる役員（2年任期で1年ごとに半数改選）が、自身の知人など1年間一緒に活動するのにやりやすい人を人選している。
- ・小学生の保護者で、6年間一度もやっていない方から、優先的に選出している。
- ・なるべく平等になるようグループ分けし、毎年グループの中から選出している。
- ・校外よりお知らせなどをもらって数年分次期役員を決めている。
- ・現登校班の副班長が、次期役員になる。
- ・順序を3年後まで決めて家庭内で準備を進め、子どもが5年生の時に立候補してもらう。
- ・人数の少ない年度は、人数の多い学年から繰り上げて役員を担ってもらっている。

### ◆従来方法

- ・クジで選出している。
- ・家庭の事情を考慮し選出している。
- ・事前に話し合いにより決めている。
- ・くじ引きなどで決めるのではなく、やれる人がやる。

### 【課題3】子ども会内の情報伝達について、自由記述多かったもの

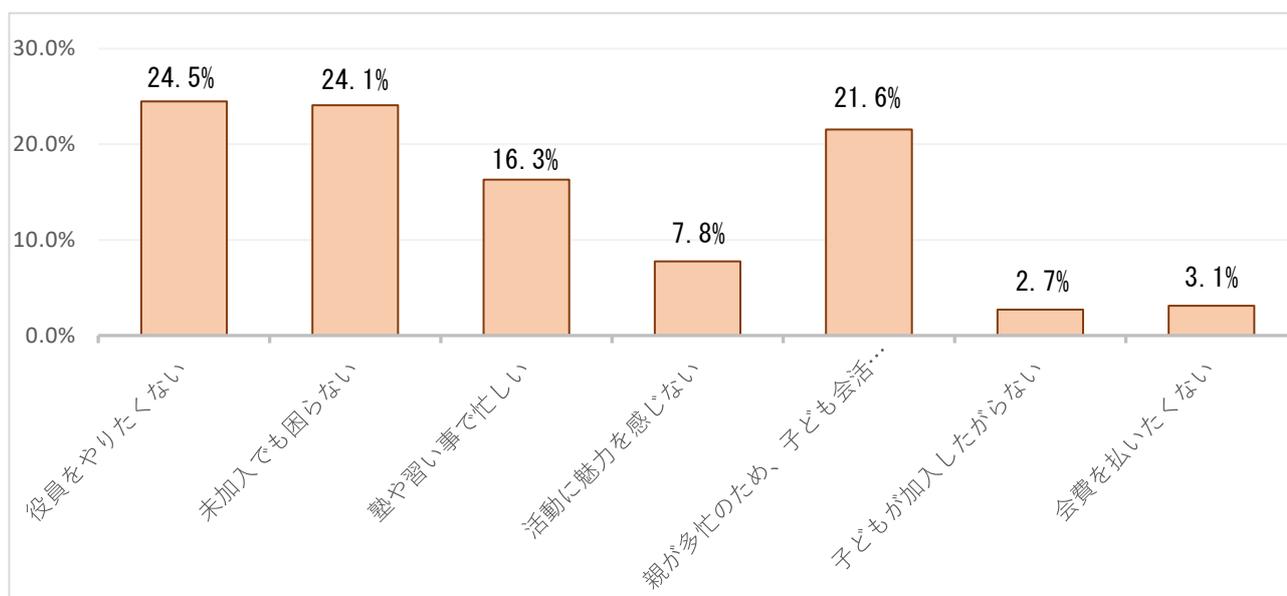
#### ◆LINEの活用【136件】

- ・学校の登校班ごとにグループLINEがあるので子ども会からの連絡もそちらを活用している。
- ・LINEによる伝達にし、回覧版を廻す作業を少なくしている。
- ・子ども会役員間はLINEで、町会とはLINE WORKSでつながっている。

#### ◆その他ツール

- ・以前は回覧版を使用していたが、情報伝達はメーリングリストで一斉送信している。
- ・今年度はマチコミを活用。メールアドレスへの一斉送信でなくなったので楽になった。
- ・SNSの利用

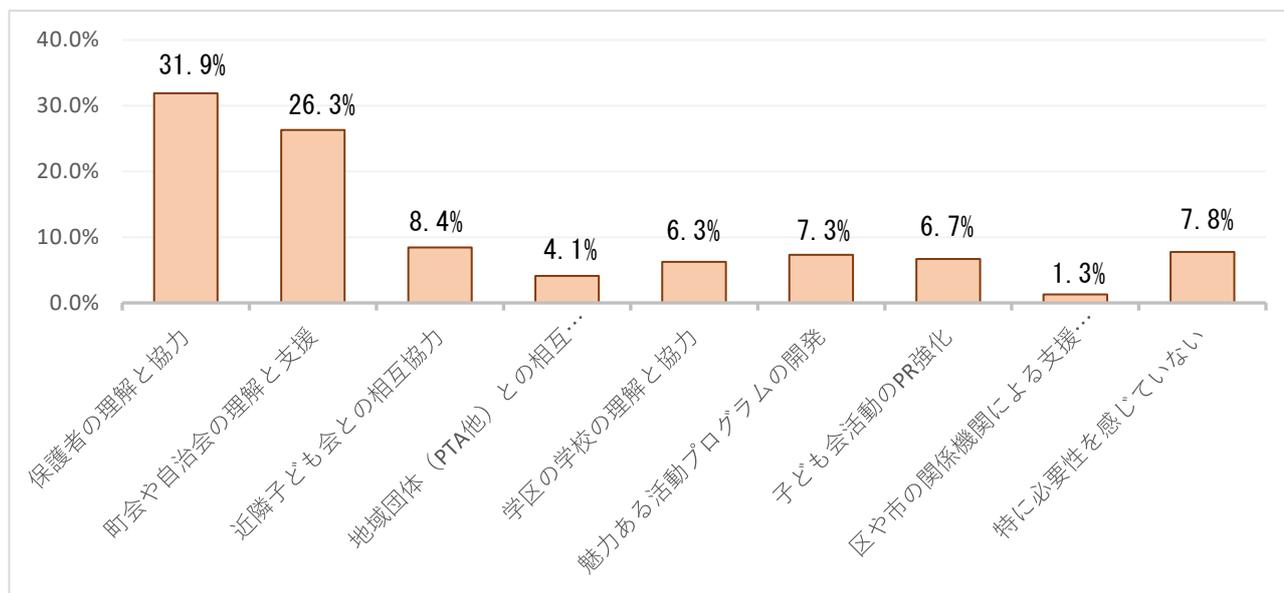
### 質問11 子ども会に加入していない世帯について、把握している理由があれば教えてください。



#### その他自由記述で多かったもの

- ・調整学区という近隣の小学校との境界にお住まいであったり少し遠くの地域から通っている世帯のお子さんには送迎の問題等で加入が難しい。
- ・言葉の壁がある。理解して頂けないので加入してもらえない。
- ・未加入世帯に問い合わせすると上記理由のいずれかを必ず言われる。
- ・子ども会の存在そのものや、どうしたら加入できるか知らない。
- ・我が家は賃貸マンション住まいなので、子ども会加入の案内が来なかった。
- ・イベントに参加したくないため。
- ・未就学児しかいないため。
- ・自治会にそもそも入っていないため。
- ・学区外の学校に通っているため
- ・全員加入している。
- ・賃貸住まいなのでいつ引っ越すかわからないため。
- ・親が人付き合いが苦手のため。

質問12 子ども会の活動をより活性化するために、どのような取り組みをしていますか？



その他自由記述で多かったもの

◆近隣団体との連携

活動する子どもも大人も減少しているので、単子だけにとどまらず近隣子ども会との共同企画などをやったらいいと思う。

学校の方にも、子ども会の存在をアピールしてもらえるといいかなと思う。

子ども達と地域のつながり作ることを第一に、みんなができることを負担なく交流できるよう自治会と協力している。

◆活性化策

イベント実施にあたり、役員自ら楽しんで実施できる、役員達の士気を高められるよう、企画内容検討やコミュニケーションをとることを重視している。

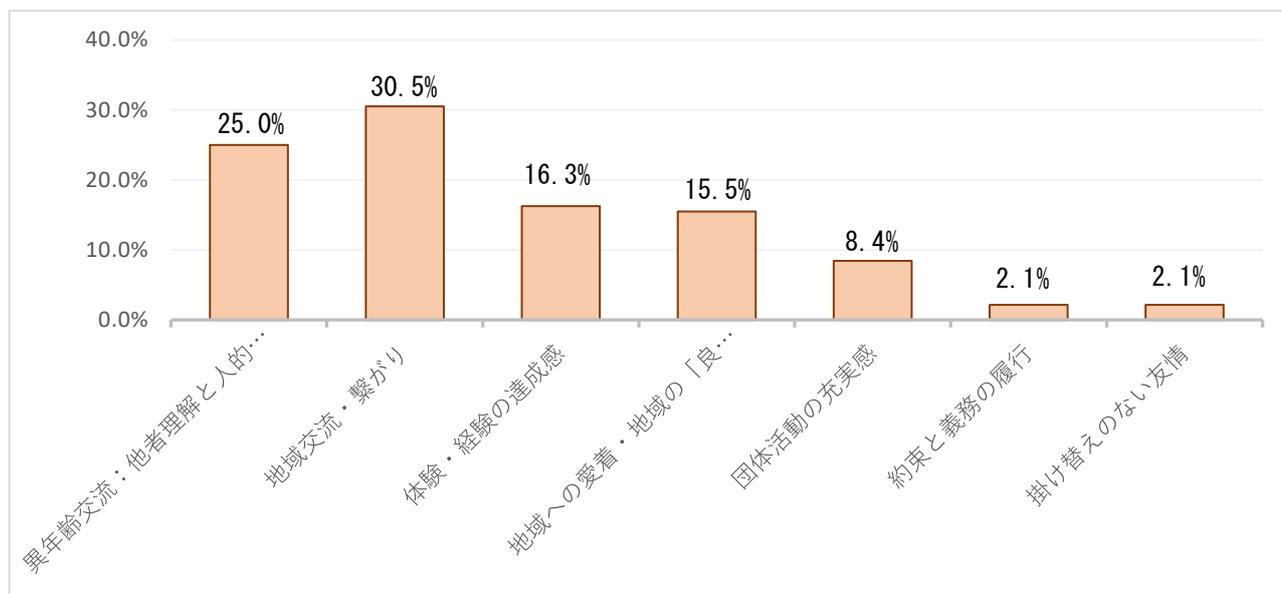
活動内容の負担軽減。子ども達が楽しめる機会を予算内で工夫しながら企画。

◆活性化策までできていない

1年ごとに役員交代のため、過去の引継ぎ資料の内容のとおり実施するのが精一杯であり、活動をより活性化する取組みまでには至っていない。

1年交代制なので、活性化まではいかず、まずは現状維持を目指している。

質問13 子ども会活動を通じて、子どもたちが学べる・成長することはどのようなことだと感じますか？ また、保護者がともに成長することとはどのようなことと想像されますか。  
(複数回答)



その他自由記述で多かったもの

- ・地元でなくとも仲良くなるきっかけになる。
- ・核家族化が進むなか離れて暮らす祖父母以外のお年寄りとの交流イベントも少ないため、日々町内を清掃してくれる婦人部や老人部の方と挨拶したり、イベントを通し年配者への礼儀を教える事が重要と考えます。そして日頃からの挨拶を通して地域の方々に子ども達を見守ってもらえるようになることを希望します。
- ・子ども会を通じて親と子が交流することはないと感じる。むしろ会議などで時間が限られ交流時間が減っていると思う。
- ・連合運動会は準備が大変だが、事前の練習などで子ども達が盛り上がり楽しんでた。
- ・防災については、大切な活動だと思う。子も親も常に学び、情報・知識をUPDATEしていくことが重要。
- ・なぜ保護者の成長まで子ども会が担わなければならないのか疑問。

質問14 「子ども会」について、なんでも結構です。自由なご意見をお聞かせ下さい。

自由記述で多かったもの

当会は児童数の少ない学区の中にある子ども会なので、かえって地域とのつながりが強く様々な世代の人と学校・PTA・町会と常に関わりながら活動している。近年、新しい住宅がいくつも建てられるようになり小さなお子さんの居るご家族がそこに越してくる、あるいは子ども時代にこの町で過ごしたお子さんが成人して家族を持って戻ってくるというケースがいくつも聞かれる。子ども会活動が少子化で先細って行くのは仕方がないのかもしれないが小学生時代とうかけがえのない時間にこの町に愛着を持ってもらいたい、楽しい思い出を作ってあげたいという気持ちを忘れずに今後も活動をしていけたらと思っている。

自分の子どもが地域の大人や同年代のお友達と関わることのできる良い機会として多くの行事に子どもと一緒に参加してきた。行事はどれも楽しく参加してよかったと思えるのですが、そのように感じる私の方が少数派な気がします。子どもが楽しめるのであれば行事のお手伝いは親の自分たちが当然やるべきだと思う気持ちを持つのが普通ではなく、良い人となる、この世の中では子ども会、そして地域というものの今後は心配です。

コロナですべての行事が無くなり、今年は様々な行事が、それ自体を体験していない人々による開催となっている。何年も前の引継ぎノートに頼るしかなく、すべてが手探り状態である。また一般会員の世帯は行事に積極的に参加しないところも少なくなく、行事に参加してくれる人を集めるのも大変である。これは子どもを集めるということだけでなく、行事運営を手伝ってもらう大人を集めるのも困難ということである。仕事を持つ方々が多く、都合がつかないということもあるのですが、面倒くさいというのが本音でしょう。役員に選出されてしまった数名に多くの負担がかかり、それぞれ都合をつけて役員の仕事をごまかしている状況である。

当子ども会会員はここ数年で減少が著しい。役員になる可能性が出てくると退会する方が続出します。先日他の子ども会の方と話す機会があり、その子ども会は子ども会に入っていないと登校班での登校に加えてもらえないため、半強制的に子ども会に加入する仕組みになっているとのこと。当会ではそのような約束事はない。小学校入学する方々に集団登校についての指導に加え、地域との関りをもつために子ども会に所属することを学校や行政から推奨して頂けると有難い。

定例行事を盛大に実施したい町内会や年長者の方々、一方感染症問題でなるべく飲食を控えたい子どもや保護者たち。なにごとにも効率的にやりたい若い世代と年長者世代とは温度差があり、調和をとるのが難しいと感じる。ただこの町内会は多くはないが積極的に参加してくれる方がいて、とても良い地域だと思う。そして町内会と子ども会の活動を通して新しいママ友ができたり、年長者から多くのことを教えてもらったり、地域の方々同士が顔見知りになることにより治安の安定や子ども達の安心にもつながると考える。

仕事や子育てで忙しい中、子ども会の活動までしなくてはならず大変です。コロナで中断した行事で復活する必要のないものはそのまま終了したり、簡素化できるものは簡素化させたままにしていくなど検討しています。また市子連や区子連からの紙資料はWeb上でPDFで公開して頂ければ、会員への配布が容易となります。ご検討をお願いします。

本アンケートはかなりタイムリーな内容で、当子ども会においても役員の成り手がいないうえに、それを避けるために子ども会を退会してしまう方もいらっしゃるという聞き、町内会と連携しながらどのように子ども会活動を続けていくか喫緊の課題です。ぜひ集計結果を共有頂いて参考になる方策を模索していきたい。

他の子ども会がどのくらい人数がいて、どんなイベントをしているか気になる。またどのような方法で新規の募集をしているか知りたい。

イベントでは保護者が主体となっているため、企画提案する段階から子どもが主体となって動き、保護者は補助として動くくらいが理想。ただ現実には準備や決め事が多く積極的に協力してくれる保護者が少ないので動く役員に負担が集中し、会長や役員をみんなやりたがらない。役割分担してみんなで少しずつ動けば負担が減るということを理解してもらい、浸透させていきたいと思っている。それと子どもの数が減少しているのも地域で合同にやれば良い。ただ町内会の上層部は頭が固いので、なかなか私たちの意見を受け入れてくれないケースが多いのも事実。

小さな子どもがいる家庭の保護者が参加する会なのに、夜の会議が月2回行われることに無理がある。Zoom開催を利用するなど参加しやすい環境構築は大切。子どもの数がますます減る前に細部にわたる改善が必要。地域との親交が深まる活動は人々に温かい交流を生み、その中で育つ子どもや親にとってたいへん意義深く地域の治安維持にも大きな役割を担っている。しかしその半面40年以上もやり方を変えられず、現在の生活スタイルから乖離してしまっている感は否めない。学校・自治会・子ども会による三位一体ともいえる仕組みを保護者の父親も巻き込んで一緒になってそれぞれ見直しをしなければ改善しないだろう。今後のあり方を考える場が必要であり、先輩たちが残してくれた良き部分を精査し未来の在り方を議論する必要があると感じている。

子ども達に地域交流を通して地域のつながりの大切さを伝えたり、お祭りなどの古くからの伝統を伝えていくことは非常に重要である。しかし子ども会を担う保護者はほぼ働いている方が多く、仕事・家事・育児にプラスして子ども会の役割が乗っかることへの負担感を感じる。「子ども達のために」そして「自分たちのために」楽しく子ども会を引き継いでいくために活動内容を工夫していきたい。なにかアドバイスがあったら教えて頂きたい。

子ども達にとって思い出を作る良い機会であることは否定しないが、子ども会のシステム自体が昭和から変わっておらず、仕事をしている母親が大多数の今の時代にマッチしていない。特に会長の連絡業務だけでもかなりたいへん。負担が大きいのでもっと簡素化して欲しい。

保護者の負担が大きすぎるので、時代にあわせて変化していくべきと考える。このような研修も資料配布だけではダメなのか、再度検討して欲しい。

子ども会は働き世帯の親より構成され、負担が大きいため交代輪番制になっている。そのため「子ども達を楽しませる」＝「活動が多い」＝「親の負担が多い」という矛盾が生じます。区や市の関係機関による支援強化があるとよいかも。

役員を経験してはじめて、子ども会が地域の中でたくさんの方に支えられていることを知った。役員活動は時間が割かれる大変さは正直ありますが、人や地域とのつながりを感じることでできる貴重な経験でもある。

イベントが多数あるのはいいが役員の負担が大きすぎる、仕事を休まなければいけないほど。コロナで集まりは中止していたが特段問題は生じていないので、このまま中止を継続するつもり。子供会の役員の負担を軽減できるよう、スムーズに活動が行えるよう考えて欲しい。

働いている保護者・家庭の事情など、時間的に参加が難しいこともある。子ども会の仕組みが分かりにくいことがある。

行事などを魅力あるものにしても「知らなかった」と言われることが多い。掲示板やHP掲載だけでは、認知度UPにつながらない気がする。置きビラの設置やポストインなど、各家庭にいきわたる工夫が必要かも。学校でビラを配布してくれたらとも思う。

この地域では、子ども会参加人数が減っておらず有難いと思っている。それは自治会とのコミュニケーションがきちんととれているからだと思う。今後も子ども会の良さをもっとアピールして、毎年平均的に人員が増えるようにしたい。

子どもが安全に育っていくために、子ども会は必要だと思う。そのため情報の共有化も強制ではない「お互い様」の思いやりのある活動を続けていくように心掛けたい。

共働き世帯が大半を占めており仕事と家庭の両立で多忙をきわめる中、役員の仕事をするというのは役員が苦手な方にとっては負担になる。強制的にやらせるのではなく、有志を募るなど自主的に担える環境になるとよいと思う。一方で子ども達にとっては楽しみの1つでもあるので。役員になったからには楽しみながら助け合いながら活動していこうと思う。

自治会行事以外にも区の活動があり、家庭の時間を削って参加している役員がほとんど。このまま負担が増えると子ども会運営自体に疑問が生じ、最悪廃止も十分あり得る。少しでも配布物や区の会議を減らして頂けると負担減になる。否定的なことばかり記述したが、子ども会行事は地域の活性化に欠かせない存在だと認識しておりこれからもできる範囲で活動していく所存です。

子どものことを考えて頂き感謝しているが、ご指示頂く年間行事が多く先行きが不安。皆様のお役にたてるよう務めていきたい。

LINEグループには、父親も入ってきており、時代の変化を感じる。この地区では地域の方と一緒に活動したいという方と、仕事も忙しくできれば子ども会活動はやりたくないという方がいらっしや、考え方の違いに悩まされている。

子ども会活動が負担になり脱会してしまうのは本末転倒だと考え、昨今の共働きが多い状況や下の子どもがいるため活動に参加できない親もいることを自治会に共有してきた。また役員が母親に偏りがちだが、ときには父親も行事に参加してくれ、どちらかの親が参加できればと思う。

町内会は高齢者ばかりなので、人数不足になると「子ども会で〇人参加して下さい」と一方的に要請される。子ども会の中で同学年がいなかったり、話したことがないなどの理由で、友達同士で参加するケースが減り、兄弟で、または親子で参加というケースが多い。そのため子ども会の役割は何なのか考えてしまう。

役員の負担が大きすぎる。負担を減らそうと努力している時間も気力もなく、結果、前年度と同じことを繰り返すだけ。役員の中で話が出たのは、町内会と子ども会を併合するのが一番いいのでは、という意見。町内会を主として子ども会側はお手伝い程度の役割だったらやれるかも。

子ども会役員だけだと情報量が少なく、昔からの風習がわからない。役員みんな仕事をしているので、他の子ども会での負担軽減策の方法を知りたい。

他の子ども会では、何をされているのか知りたい。

共働きが多い昨今、活動への負担がネックで加入しない世帯が今後ますます増えるであろう。今やこれからの時代にあった活動に変革していく必要があるのでは。

子ども会自体に関して、縮小の意見が多い。理由は親の負担が大きい、子どもの親のみの構成では厳しいなど。

町内会役員の方々は、昔の考えが多く、昔と違い専業主婦が当たり前ではなくなった現在、昔のような活動を求められても困難である。

共働き世帯が多く、役員を自ら進んでやりたいと思う保護者はいないのが現状。イベント参加率は悪いが、参加した子どもは「楽しかった」と喜んでくれるので、やはり子ども達のためにも楽しい活動を続けたいと思いつつ役員の負担を軽くするにはどうすべきか、課題は多い。

2年前に引っ越して、連合子ども会への参加を要請された。よく聞くと連合子ども会と町内会との連絡係が必要とのこと。また町内に何人の子どもがいるのか聞いても個人情報なので教えられないとのこと。このような状況で連絡係をやらされていることが苦痛でたまらない。子ども会関連は、やりたい人がやって欲しい。関係ない人間を巻き込んで欲しくない。

今年度から子ども会の会費を免除し、町内会の助成金のみで活動に切り替え、またこれまで回覧していたお知らせをポスティングする方法に変えた。今後も試行錯誤を繰り返しながら、子ども会が発展するよう願っている。

役員になって様々な活動を知れてよかった。子ども会行事と連合の行事をうまく組み合わせて年間行事の計画をしたい。重なり過ぎても家族の行事が優先なので、活動が負担になるのはまた違うので。役員活動を通して、地域の人と知り合いになれたのはよかった。

部長をやってみて、はじめて地域の中での子ども会の位置づけが分かってきた。核家族が増えてるので、町内会の様々な部門の方と子ども会が関りをもてるのはいいことだなと感じる。

行事や活動が多すぎる。現代の子どもは、習い事や塾があり、行事の参加はむずかしい。子ども会の役員になると、子どもと過ごす貴重な時間をとられてしまい、子どもは1人で食事をしなければならない日が多くある。平日に行事前の買い出しに行かなくてならない時は、仕事を休む必要があり収入も減る。アンケートはスマホでできるように考えて欲しい。切手代自腹で郵送はおかしいし、自宅にPCやFAXはないため。

今年度より子ども会は解散し、町内会で地域の子どもの集めるために青少年部という組織を作った。理由は子どもはいるのに子ども会への加入は半分にも満たず、保護者が2回以上役員になることを負担に思ったから。そこでわりと時間が自由にとれる町内会の高齢の方々でお世話することになった。

自治会範囲を広げ、周りの子ども会と合併・共同運営などを考えていくことも必要。

ほとんどのイベントが自治会と共同実施しているため、子ども会に加入していなくてもイベントには参加できる。そうすると役員が回ってくるのを嫌って子ども会に加入しない人が増えるのではと懸念している。

個人情報の問題で、勧誘が難しい。ほかの子ども会で良い勧誘方法があれば知りたい。

子ども会への加入はなかば強制的な雰囲気がある。本来ならば子ども自身が入りたいか、入りたくないかを尊重すべき。

子ども会に加入しない世帯が加入してくれれば、子ども会がこれほどどんどん無くなるという事態は防げるだろう。加入しない理由が、子ども会より家庭優先を挙げる人が多いが、子ども会に加入するメリットがあるか？ないのでは？という考え方を果たして変えられるのか？指導者がしっかりとした子ども会ならば可能では。

子ども会の役員をするとPTA役員が免除になる等の特典があれば、役員引受者は増えるのでは。

メールなど、すべてのやりとりが電子化してもらいたい。
当地区において小・中学校で子ども会は終わりではなく、ジュニアリーダーみたいな存在を形成できたらと思っている。
保護者が子ども会に対して、役員をやりたくない、面倒くさい、時間をとられるのがいやなどのネガティブイメージを持っている人が多い。子どもの気持ちより保護者の気持ちが先行しているような気がする。
役員のみでは運営がたいへんなので、イベントでは他の保護者にも協力してもらおうよう思案中。
子ども会組織の全体像がつかみにくいと感じており、各子ども会が活動内容を書き込み全体を見渡せるページがあればいいと思う。
会員数が減少し続けており、役員のなり手がいない、もしくは助成金が廃止になるようであれば、子ども会は解散せざるを得ない状況。どうしても子ども会を存続させたいと思う方は少数派だと思うので、子ども会の活性化は難しい課題である。

以上